

**内郷村報の**

一、政務行政を整理して、村の實主義を振務す。  
二、村内外公私各機關の活動状況を報導し併せて其協力を計り、進現和協努力の實現を期す。  
三、本村社会事業の徹底を期す。

四、村内の慈善興行を奨励し、其之を補助す。  
五、本村に本村出身者及本村に籍を有する者計り、且其發展向上を期す。  
六、國民愛に燃る。

**六大使命**

# 内郷村報

天法人則  
ニ從順ナ  
ルベシ

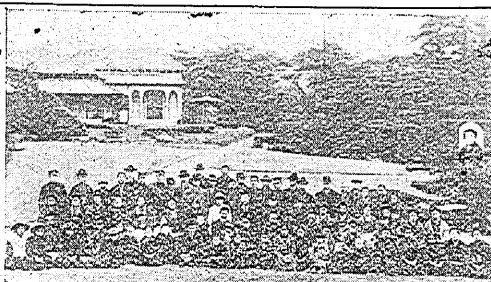
## 第二世 機關設立の提唱

福島縣海外協會理事  
同海外移住組合監事  
**大内民恵**

これは先般本縣廳に於て開催せられた縣海外協會並に縣海外移住組合總會の席上予が提唱した私見の大意を補正したものであつて先づ縣海外協會報に掲載せられそれを又外務省内移民問題研究会機關雜誌「海外移住」にも轉載せられたのであるが國策上重大なる問題なるが故に特に我四千の讀者諸君にも之を披露して其賛同協力を仰ぐこととした次第である。

**一、緒言**

予は明治四十年五月から滿三ヶ年間、米國ワシントン州にあつて米國の教育を研究する傍ら、移民状態を視察し、それを終へて歸朝しやうとした時、圖らずも布哇の在留同胞より招聘せられて、ホルル學園長となり、所謂第二世教育に従事すること滿八ヶ年に及んだ。此の間布哇教育會の理事に就任、同僚五人と共に擧げられて教科書編纂委員となり、先づ其趣意書を作製、當時總領事代理として駐在せられて居つた、現外相有田八郎氏（當時領事）を介して、米國當局の諒解を得、又一面同領事を通じて、我文部省の協賛をも仰ぎ、渡歐の途次寄港せられた、故



大内民恵侯に於ける春風學園學生及關係者  
大内民恵侯 安部磯雄氏 其左記者 大正七年九月

時に、其の義務教育をうくることになるから、幼年時代にあつてこそ、親子の意志も疎通し、其の情合もこまやかであるが、漸次高級の教育をうくるに従つて、其の間は漸次遠ざかり行き、一方は日本に生れ、日本で教育を受けたものは米國の國語によつて、米國の教育をうけた米國市民であり、米國を故郷として之を懐くも共に忠良なる米國市民たらんとする、共に當然のことである。而して此

却説、第二世の親である第一世は、言ふ迄もなく日本に國籍を有するもので、新天地に其の運命を開拓すべく、一大決心を以て懐き故國を後に、幾千里の波濤を越えて渡米したものであつて、先づ第一に生活の安定を得ること、第二には其の子孫をして立派な我が後繼者に育て上げ、將來子々孫々と幸福な幸福な生活を送らうといふ希望を有つてゐたことは勿論である。然るに實際は、容易にそうは行かないのである。此處に第二世を繞つて複雑微妙な種々の問題が伏在して居るのである。

本報は内郷村の事業に於て、其の發展に對する運籌を盡すもなり

本報定価 一部五錢 二部十錢 共計四十八錢  
發行所 福島縣石城郡内郷村大字磐城  
編輯 大内民恵  
印刷所 平沼印刷所

さし、之を古今に通じて謬らす、之を中外に施して悖らざる、世界の平和、人類の幸福を理想とする日本精神の發揚を完するが如きは到底望み得ないことである。予はこゝろした見地から、之を補導（敢て教育といはず）して、忠良なる日本人系市民を育成すること必要を認め、今を距ること十二年大正七年二月、十數人の第二世を引きつれて歸朝し、當時早稲田大學の教授であつた安部磯雄氏及故大隈侯爵等、多數知名の士の賛助の下に、當時の府下高田町に、春風學園なるものを創立して之が補導に従事したのであつた。

二、米國に在留する邦人の殆んそ總ては、地方出身であつて、其の第二世を日本に送つて補導を受けさせることすれば夢寐の間にも忘る、能はざる、其故郷の山水近親に親しましめ、我が出郷當時の事情苦心等をよく知らしめたいと思ふは勿論、有史以來三千年、其祖先が、萬世一系の天皇の赤子として、無限の皇恩に浴すると共に、純真なる忠節を致し、世界の平和人類の幸福の實現を、其の國是とした祖國日本の金鏡を、よく認識させたいといふ希望を持つて居ることは、言を俟たないのである。

### 從業員大募集!

人員 貳千名（経験が無くても仕事が出来ます）  
内 採炭夫 一七〇〇名 坑内機械夫 一〇〇〇名  
支柱夫 一五〇〇名 坑内工作夫 五〇〇名  
坑内運搬夫 一〇〇〇名  
滿十六歳以上五十歳まで（身体壯健のもの）  
賃金 賃金會社にて賃額いたします  
一日四圓以上四圓（請負制にして就業時間八時間乃至拾時間）  
世帯持には社宅を無料で貸與いたします  
獨身者のために寄宿舎あり（食費寝具共一日四十五錢）  
就業場所 級坑、住吉坑、町田坑（常磐線級下車）長倉坑本驛下車  
希望者は最寄職業紹介所か町村役場又は直接會社に御申込下さい！  
東北第一の大炭礦!!  
磐城炭礦株式會社礦業所  
（福島縣石城郡内郷村大字級）

磐城炭礦株式會社礦業所  
通學道路改修に奉仕、内郷村長より感謝狀を授與せられた。

然るに東京に在つては、先づ第一に、第一世即ち彼等の親達の故郷をよく知るべき出来ぬ。第二には、東京は日本の首都なるが故に、一寸考へるに、日本の全貌を知る上に、最も便宜であるかの如く思はれるが、實際は其の生活が甚だしく複雑であり、四圍の刺戟が餘りにも激しく、且つ經費を要することも決して少なくなく、如何に苦心して之を補導するとしても其好結果を得ることは、頗る困難であるといふ結論を得たのである。

三、春風學園の經營は、精神的方面に於ては、前述の通り幾多知名の士の翼賛をうけたのであるが、物質的方面に於ては、微力なる予自身が之を負担したのであつて、僅か一ヶ年餘の間に約二千圓以上もの犠牲を拂つた事になつたのである。之に鑑みて、かうした事業は、大富豪の事業ならば格別、微力なる我々如き個人の人力を以てしては、到底なし得ざるものであるといふことを、深く考へさせられたのである。

以上三つの理由から、お預りした第二世は、其親達も夫々協議の上、其補導方針を變更して、學園を解散したのであつた。

四、予が提唱

春風學園を解散して、こゝに二十有年にもなるが、予が念頭常にたゞに米國のみならず、南米南洋は勿論、全世界に散在する、我百萬同胞の前途並に、其第二世第三世の將來をどうするかといふことは、寸時も離れず、事はなく、そのしたるから、進んで本縣海外協會や、移住組合等にも關係して、今日に到つたのである。

今や本縣人にして、海外各地移住者は一萬六千六百八十八人、内本會員は一千三百二十八人に達し

それ等の人々が、種々の形に於て本縣に寄せられた熱情、最近又本縣後援會に、四萬餘圓を寄せられた熱情等に對しては、關係者の一人として、たゞ感涙の外なく同時に我々は、何等かの方法によつて、之に報いなければならぬと痛切に考へさせらるゝのである。又かくするに、遠大なる我國策にそふ所以であると思はれるのである。

幸ひ本日總會には、有力なる幹部各位が、多数出席せられたので、之に對する私案の大意を提唱して、先づ其御賛同をいたゞく同時に、之が實現に御協力を仰ぎたいと思ふのである。

一、本縣海外協會及同移住組合が、其主體となつて、關係方面の二世補導機關を設立すること。

二、本縣知事を總裁に仰ぎ、關係官、海外協會及移住組合の役員を評議員若しくは賛助員として院長(假りに其機關を學院と稱するものとして)補導員(教養ある各國語に通ずる數人も含む)の適任者を任命す。

三、其在籍國の義務教育、若しくは其以上の教育を完了したるものを收容して、其補導期間を一ヶ年乃至二ヶ年として、夫々補導方針を定めて、日本語を教授すること。

共に、福島縣下の實情は勿論、日本全貌を認識せしめ、其父祖の孝子ともなり、其所屬國家の忠良なる國民ともなつて、世界の平和人類の幸福の爲に、貢獻すべく指導するを以て其目的とする。

尙進んで日本の特種専門教育を受けんと欲する者の爲には、勿論其便宜を計らむこと。

四、國籍の關係上特に、全然日本の教育を受けんと欲する子弟の爲には、別に方法を講じて之を預り、其期待に添ふべく努力するものとす。

一五、場合によつては、奥羽各縣の第二世補導をも引き受くる事あるべし。

一六、其經費は、食費、住宅費、補導費、見學費等を合せて、一ヶ月約四拾圓を要すると思はれる。(東京の約半額)但し之は各自の負擔とす。

一七、機關創設の經費は、關係各方面の寄附によるものとす。

五、補導結語

以上は、大體米國方面に於ける予の觀察、驗證、研究等を根據として、其私見を提唱したものであるが、前にも少し述べた通り、之を南洋南米を始め、世界の我が支部所在地にも共通することであり、又滿支方面に於て、國籍に關係なく、完全な學校を設立して、純日本教育を施して居る方面の第二世教育に於ても、其將來を考ふる時に、百聞は一見に如かず、せめては半年なり、一年なりを日本にかへして、其父祖の郷里、母國の全貌を認識せしむることを、母國の全貌を認識せしむることを、最も肝要のことと思はれるのである。

今や我日本は、東亞の平和建設

の爲に、國を擧げて大なる犠牲を拂ひつゝある中では、如何にも日本は好戰國であり、侵略國でもあつかひの如く、誤解しつゝある向も少なくないのであるが、繰返して云ふ迄もなく、之を歴史に徴して明かなる通り、由來我帝國に於ては、我國の獨立を確保する爲のみ、致し方なく他國と干戈を交へたものであつて、常に天地の公道に基き、之を古今に通じて譲らず、之を中外に施して悖らざる、世界の平和、人類の幸福を、其理想とする、一大精神の下に、全國を擧げて、精勵奮闘して來たものであるのである。

以上の精神を、全世界に散在する、第二世第三世にも體得せしめて、夫々歸國の上は、此大精神を其國の上下に宣揚せしめて、全世界の平和、全人類の幸福を招來する爲に、偉大なる貢獻をする端緒を開くこと、を望みたいのであつて、たゞに本縣のみならず、全國各府縣に於ても、漸次此種の設備を實現して、此方針に出づべきものであつて、云はゞ本縣が其嚆矢として、其先鞭をつけたと思ふ次第なのである。

### 教育制度改革概論

(四六版二一頁 定額五十五圓 郵税六圓)

矢野 恒太郎 大内 民憲著

陸續燃料報國の勇士を、所在地内郷村居住の一人とし、町村當局を通じて、紹介幹旋以て國策順應の舉に出で、特に念願措く能はざる次第である。大内民憲

炭礦を軍需産業として 當局は極力之を支援 來れ！産業報國の勇士！！

征戰三年、皇軍の向ふ處無人の境を行くが如く、今や四百余州の大半を占據、南北三千軒の沿岸を封鎖、蔣をして四川袋中の一窮鼠

たらしめ、之を支援し來れる某々第三國亦逼塞して、蠢爾其舉措を失ふに至り、愈々我帝國が、天地公道の大旗をふりかざして、學園

一致聖業達成に邁進すること、古今未嘗有の國運を招來するに至つたことは、眞に感謝感激に堪へざることに、其責任の重大なるを思はしむる次第である。

同時に海に陸に、あらゆる機關を運用する原動力となるものは、實に石炭であつて、其需用に對して、供給之に伴はざるの憾みあるところから、當局厚生省は、七月十日十一日の兩日にわたり、福島市の教育會館に奥羽六縣並に關東一部の職業紹介所長を招集、今後炭礦業を軍需産業と同一視して、其從業員を紹介斡旋すべきことを告示通達するに至つたので、各所長は其意を體して歸任すると共に、夫々積極的、其方面の求人開拓を開始することとなつた。

而して本紙上に於て、屢々報道してある通り、其從業員の収入は、頗る好條件に恵まれ、月收最下五六十圓より百圓を突破するもの少なからず、何れも「此時なり」とばかりに、産業報國の勇士たる一面、一身一家の更生振興に、奮闘努力深ぐまじき精進をつづけて居る。されば本紙四千有余の讀者諸君に於かれても、極力上述の事情を宣傳普及(以下三頁へつづく)

◎本紙贊助金寄贈芳名 金五圓 選手 鈴木春五郎

我が國教育界の權威 前京大總長小西重直博士

書を寄せて曰く、多年の御體験と實地ノ御試練ニ基キ、貴國ノ大精神ヲ發揮シ、不感感激ニ申シ奉ル云々。

發行所 日本社評論 東京三丁目

取次所 内郷村報社

良一五、中四〇、不良四五 △宮澤從業員俱樂部 受檢幼兒一七四、優良二〇 良二九、中一一一、不良一

我が國教育界の權威 前京大總長小西重直博士

書を寄せて曰く、多年の御體験と實地ノ御試練ニ基キ、貴國ノ大精神ヲ發揮シ、不感感激ニ申シ奉ル云々。

發行所 日本社評論 東京三丁目

取次所 内郷村報社

良一五、中四〇、不良四五 △宮澤從業員俱樂部 受檢幼兒一七四、優良二〇 良二九、中一一一、不良一

發行所 日本社評論 東京三丁目

取次所 内郷村報社

良一五、中四〇、不良四五 △宮澤從業員俱樂部 受檢幼兒一七四、優良二〇 良二九、中一一一、不良一

發行所 日本社評論 東京三丁目

取次所 内郷村報社

良一五、中四〇、不良四五 △宮澤從業員俱樂部 受檢幼兒一七四、優良二〇 良二九、中一一一、不良一

外協會や、移住組合等にも關係して、今日に到つたのである。今や本縣人に於ては、海外各地移住者は一萬六千六百八十八人にして、内本會員は一千三百二十八人に達し

### 教育制度改革概論

(四六版二一頁 宛郵五五號 郵種六第)

陸續燃料報國の勇士を、所在の職業紹介所若しくは市町村當局を通じて、紹介幹旋以て國策順應の舉に出でられんことを、常磐炭田の

### 令旨拜戴と團旗拜受

全國警防團に對して、總裁梨本宮殿下より賜はりたる御令旨は、七月十日福島市公會堂に於て開催せられたる、第一回縣下警防團長會議の際之を拜戴し、尙同日警防團旗を授與せられたので、之に出席したる佐藤副團長及野木旗手は、其を奉じて翌十一日午後三時二十分綴驛に到着したるを以て、警防團幹部は、驛頭に堵列して之を奉迎した。尙令旨傳達式並に團旗樹立式は、來る十八日家政女學校々庭に於て舉行の豫定である。

中樞をなす、磐城炭礦の所在地内郷村居住の一人として、特に念願措く能はざる次第である。大内民惠

### 事變記念式

七月七日は日支事變二週年に相當するを以て、同日午前十時より村會議事堂に於て、役場吏員、村會議員、區長、小學校長、軍人分會長、愛國々防婦人會長、方面委員其他各種團體代表者多數參集、開會の辭、國歌齊唱、宮城遙拜、默禱、勸語捧讀、誓詞、村長の挨拶萬歳奉唱、閉式の辭の順序により、壯嚴裡に記念式を

行き詰れる現代の教育制度を廢止して、學理と實際と、歴史と實験とから新に大内案九主義を提唱す。天下知名の士の賛同枚舉に違あらず。とれど未だ一人の抗議者も現はれず。

我國教育學界の權威 前京大總長小西重直博士 書を寄せて曰く、多年ノ御體験ト實地ノ御試練ニ基キ其學問ノ大精神ヲ拜味仕リ不感感敬ニ云々ト申候云々。

發行所 日本社評論 東京東區三丁目 取次所 内郷村報社

### 寄附の數々

- 一金百圓也 柴田勘吉氏
- 内郷第二尋常小學校教育費の内に寄附
- 一慰問袋壹箇
- 内郷第二尋常小學校生徒小松フサ子、川島レイ子、高萩シキ子、西川カツ子、高瀬マサ子、小松サタ子、櫻村ユヅ子、根本キヨ子、三部シロ子、渡邊マツ子、沼田マサ子より寄附

### 國調査委員任命

八月一日を以て施行せらる、臨時國勢調査員は左の通り任命せられた。

- 〔白水〕高橋庄三郎、大越金彌、名畑留藏。
- 〔宮〕草野喜一郎、松崎靜枝、齋藤倉之助、小泉真壽、關熊藏、小島昇、直井博、

### 所得稅

本年度本村内に於て、各納稅義務者より納入する所得稅の總金額は、八千三百九十圓二十一錢で、其人數百三十五人にして、最高は矢野倉藏氏の千五百五十一圓三十錢であるとのことである。

### 小學校 蠅 驅除

本年度に於ても、第一校四四九人、第二校二一〇六人、第三校一五九二人、尋常高等校二七六〇人。

### 乳幼兒 檢査成績

六月十六日以降八日間にわたつて、村内各所に於て舉行したる乳幼兒體力檢査の成績は、左の通りである

- △御厩從業員俱樂部 受檢幼兒一九一、優良二七、良一六、中九〇、不良五八。
- △宮第三小學校 受檢幼兒一五、優良一五

### 麥笛同人募集

俳句の趣味に生きんものご ホトトギス派の流れをくみて生れたる 我等の磐城炭礦麥笛吟社は、創立以來茲に十有五年を閉ふし最近新人林若樹君(病院眼科)を迎へて其陣容を整へ、更に又殆んを添ふる機縁を得、同人一同大に意を強うするに、此際一段の向上を期する爲め、廣く同好の士を募ることを、いたしたのであります

本會に於ては從來(一)月例俳句會及吟行俳句會(二)月刊俳誌「麥笛」の發行(三)初心者之指導(四)社内出征軍人へ慰問句贈呈等を致して居つたのでありますが、今後は更に時々斯界の名士を招聘して、俳句會及講演會を開催する豫定であります

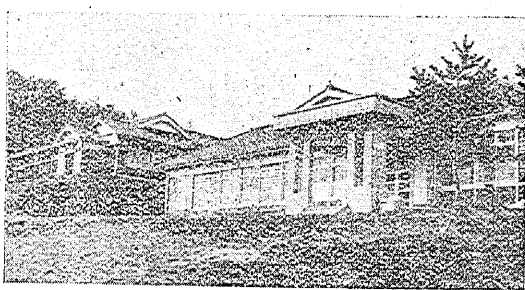
△入會御希望の方は、誰方でも(女子も)歡迎いたしますから住所職業雅號氏名を記して御申込下さい、△會費は俳誌發行費として一ヶ月金拾錢、但し發會員は別に維持費として金拾錢を申受けます△入會申込所 住吉勞務一高木撫山 綴製作一原ひでな 礦業所一石田修二 以上

總務委員 石田修二 庶務委員 高木撫山  
編輯委員 林 若樹 會計委員 原ひでを  
外同人

東北地方 望洋莊

磐城炭礦健康保險組合常務理事

全國四百の健康保險組合が、一丸となつて組織され、健康保險組合聯合會が組合の被保險者及其の家族達の結核患者療養の爲に組合並に事業主よりの寄附金を以て、全國九ヶ所に



望洋莊

理想的療養所を建設することとなり、内ヶ所を東北地方療養所として、本郡豊間村の海岸地を選ばれたのである。同所は波打ちぎはから敷町隔たつた東南向傾斜の山林地帯で、縣立回春園に近く、白砂青松の海岸洋々たる太平洋を望み、冬

は暖かく、夏は涼しく、全く療養には好適地である。昨年八月工を起し、本年三月竣工を見、建設費總額七萬六千圓を要し、病棟は木造洋風建二棟及附屬建物で總建坪四三〇坪、病室は八人室四、特別専用二人室五

外に本館、待合室、看護婦室、浴室、炊事室、小使室等々實に至れり盡せりの設備を有して居る。患者は成るべく、輕微なる内に之を收容療養する方針をとり、組合の被保險者の入院料は、一定期間組合で之を負擔することとなつて居る。而して入所希望者は、指定醫師の診断をうけて健康保險事務所へ申出づれば入所其他一切の世話をしてくれる事になつて居るのである。

磐城炭礦 安全週間

磐城炭礦にては、七月一日より一週間にわたり「興亞の偉業に輝く安全」の標語を旗章として、全従業員に安全徽章を帯びしめ、毎夜午後八時には五秒間消燈

を行つて其注意を喚起し、安全報國宣誓、安全祈願及體力涵養、安全施設強化、衛生施設改善、資源愛護實行、防空防火訓練、生活刷新強調の七項目を、週間七日に割り當て、之を強調し

一日より五日迄、綴、金坂長倉、小名濱、平の五ヶ所に於て、災害防止に關する映畫を観覽せしめ「朝希望に起き」「晝歡喜に働き」「夕感謝に眠る」は之れ一

麥笛吟社句抄

林 若樹 炎天を來ても言はぬ波かな 石田修二 兄弟や百日咳をさすり合ひ 原 ひでな 散らばりて居て賑かに田植かな 高木撫山 蕨吸ふこも物憂き大暑かな

身一家の安全は勿論、延いて産業報國となり、東亞新秩序建設の根元ともなつて上下幸福を招來するものなりと、全山に呼號することあつた。

銃劍術競技

磐城軍人分會にては、六月二十五日武徳殿に銃劍術競技會を開き、参加人員上原分會長以下四十名にして其優勝者は鈴木喜一、金成正志の二君であつた。

防空 準備協議會

七月十四日午後一時より村會議事堂に於て、七月十七日より實施せらるる防空訓練準備として、各家庭の防護態勢並に家庭防空群の強化に關し協議會を開催、各分團長、各區長、各駐在巡查等出席、詳細なる協議を遂げ其の萬全を期した。

方面委員例會

七月六日午前十時より、議事堂内に例會を開き、沼田村長より養老院の巡視其他に關する、諸注意ありたる後、左の協議をなした。本村出身の出征軍人にして、内地陸軍病院に入院中の將兵に對し、慰問狀を發送すると共に、趣味的讀み物を贈呈すること。

方面 救護狀況

四、五、六月分の狀況は左の通りである。前年度より繰越員六〇人、内開始員九人、計六九人。内廢止六人、死亡一人、現在員六二人。延人員六〇〇五人。救護費金五五四圓五〇錢。醫療費金一五五圓五〇錢。延人員一八二人。埋葬費金六圓九〇錢、人員一人

縣 警防團長會

七月十日福島市公會堂に於て、第一回縣下警防團長會議が開催せられたるを以て、本村より副團長佐藤三平氏出席した。

磐城安 成田參拜

磐城安安全委員二百四十五名は二組に分れ、六月十一日及同十八日の兩日に亘り災害防止祈願の爲め、成田不動尊に參拜した。

チブス豫防注射

磐城炭礦にては、五月十一日より六月二十七日の四十八日間にあたり、従業員一萬九十六名に對し、腸チブス豫防注射を實施、尙外に三百名に對し、内服薬を服用せしめた。

武運長久祈願

六月十八日磐城青年會高坂支部會員は、出征將兵の武運長久祈願のため、箕輪鹿島神社に參拜した。

通學道路改修

磐城御殿従業員一同は、通學道路改修に奉仕、内郷村長より感謝狀を授與せられた。

内郷村報の 六大使命

- 一、政治經濟を促進して、村の實業主義を振興す。
- 二、村内公私各機關の活動状況を報導し、併せて其協調を計り、總利和權努力の實現を期す。
- 三、本村社會事業の徹底を期す。
- 四、村内の慈善興行を奨励し、日之を振興す。
- 五、本村を本村出身者及本村籍者との聯絡を計り、且其發展向上を期す。
- 六、國民教育に努む。

内郷村報

天法人則 從順ナ

時に、其の義務教育をうくることになるから、幼年時代にあつてこそ、親子の意志も疎通し、其の情合もこまやかであるが、漸次高級の教育をうくるに従つて、其の間

さし、古今に通じて變らず、之を中外に施して博らざる、世界の平和、人類の幸福を理想とする日本精神の教育を完うするが如きは到底望み得ないことである。

まごころが之を經營すること約一ヶ年餘にして、大要次の如き缺陷のあることを發見したのである。一、日系市民として米國の中途半端な教育を受け、且つ辛うじて

本報定価 昭和五一年年報費共計四十八圓 発行所 内郷村報社 編集者 内郷村報社 印刷所 福島市二丁目九番地 電話 二二二九